



5月号

出会い保育からスタートして1ヶ月が経とうとしていますが、クラスには数名のお友だちのあそぶ姿しかなく寂しい感じはしますが、興味を示したおもちゃに手を伸ばして、口に入れて確かめたり、振って音を鳴らしたり、転がしてその動きを目で追ったり、伝い歩きをしたりと、それぞれの発達にあったあそびを楽しんでいます。

このような状況なので、今、私たちに出来ることはなんだろうかと考え、保育をしていくうえで大切なことを改めて見直すと共に、それを保護者の方にも伝えていこうということでした。今回は食事・上手に噛めるようになるためにはどうしたら良いのだろうかを取り上げました。



上手に噛めるようになるために

噛まない・うまく噛めないの原因

① 一口量がわかっていない

食べものは一口ずつ咀嚼して食べるということを身につける



パンや果物を利用して前歯で量を加減しながら噛み取らせて、一口量を教えていきます

② 子どもの摂食機能の発達に合っていない調理形態の食べものが与えられている

③ 食べものを噛む位置がわかっていない

食べものを噛む位置(奥歯)を具体的に教える



9ヶ月以降は、奥歯(臼歯)の位置に食べものを移動させてその部分でつぶして食べる力をつけている必要がある
口の前方でつぶしたり、吸うようにして食べたり、いつまでも口の中にためているなどのたべかたをしているときは、9ヶ月頃の調理形態に戻して「奥歯の位置へ移動させて噛むこと」を教えてあげるとよい。

※手をきれいに洗って奥歯の位置に食べものをに入れてあげるのも良いとのこと

お 誕 生 日 お め で と う



江頭 玲李くん 5月14日

山本 海斗くん 5月31日

